

イチゴ(野菜類の登録農薬も使用できる)

薬剤名	作用機構分類コード	人畜毒性	使用時期(回数)	使用回数	灰色かび病	菌核病	萎黄病	黒斑病	芽枯病	疫病	炭疽病	うどんこ病	輪斑病	じやのめ病	角斑細菌病	黒腐病
サフオイル乳	NC		1	-								◎				
I Cボルドー66DFL	M1		-	-							◎					
コサイド3000DF	M1		-	-							◎				◎	
イオウFL	M2		*i	-								◎				
			*k	-								◎				
クムラス顆水	M2		-	-								◎				
タフパールFL	BM2		*g	-							◎					
ボトピカ水	BM2		*k	-								◎				
トップジンM水	1		*s				◎									
			*c	3			◎									
			*h									◎				
ベンレート水	1		*d	1			◎				◎					
			*j	3			◎				◎					
			*s	1			◎				◎					
アフエットFL	7		1	3	◎						◎	◎				
カンタスDF	7		1	3	◎											
ケンジャFL	7		1	3	◎						◎					
パレード20FL	7		1	3	◎						◎					
アミスター20FL	11		1	*n	◎						◎	◎				
スクレアFL	11		1	3		◎						◎				
ストロビーFL	11		1	3								◎				
ファンタジスタ顆水	11		1	3	◎						◎					
オラクル顆水	21		*j	3						◎						
ランマンFL	21		*j	2						◎						
			*p	2						◎						
フロンサイドS C	29		*j	1							◎					
フルピカFL	9		1	3	◎							◎				
セイビアーFL20	12		1	3	◎						◎					◎
スミレックス水	2		1	3	◎	◎										
ロブラール500アクアFL	2		1	4	◎											
ロブラール水	2		1	4	◎	◎		◎								
サブロール乳	3		1	5								◎				
サンリット水	3		1	3							◎	◎				
スコア顆水	3		1	3								◎				
トリフミン水	3		1	5								◎		◎		

イチゴ(野菜類の登録農薬も使用できる)

薬剤名	作用機構分類コード	人畜毒性	使用時期(回数)	使用回数	灰色かび病	菌核病	萎黄病	黒斑病	芽枯病	疫病	炭疽病	うどんこ病	輪斑病	じやのめ病	角斑細菌病	黒腐病
ラリー乳	3		1	3								◎				
ポリオキシシナL溶	19		*q	3	◎							◎				
レーバスFL	40		*f	2						◎						
			*j	2						◎						
キノンドーFL	M1		*j	3							◎					
サンヨール乳	M1		1	6	◎							◎				
			*b	1								◎				
アントラコール顆水	M3		*a	6							◎					
ジマンダイセン水	M3		*L	6							◎			◎		
ペンコゼブ水	M3		*L	6							◎					
オーソサイド水80	M4		*q	3	◎				◎		◎					
ベルコートFL	M7		*m	5							◎	◎	◎			
			*f	5	◎		◎				◎	◎				
デランFL	M9	劇	*j	2							◎					
モレストアン水	M10			1	2							◎				
エコピタ液	-			1	-							◎				
ユニフォーム粒	4・11		*e	1							◎					
リドミルゴールドMZ顆水	4・M3		*j	3							◎					
ゲッター水	1・10		*h	3							◎					
ニマイバー水	1・10			1	3	◎					◎					
シグナムWDG	7・11			1	2	◎					◎	◎				
ピカットFL	7・9			1	3	◎		◎				◎				
ファンベル顆水	11・M7			1	3	◎					◎	◎				
ショウチノスケFL	9・U13			1	2	◎						◎				
ジャストミート顆水	12・17			1	3	◎										
パンチョTF顆水	3・U6			1	2							◎				
ダイアメリットDF	19・M7		*m	1								◎				
			*q	3								◎				

*a:仮植栽培期 *b:定植前 *c:仮植時及び仮植栽培期 *d:本圃定植後(但し収穫30日前)
 *e:定植時 *f:収穫前日まで(生育期) *g:育苗期～収穫前日 *h:収穫開始21日前まで
 *i:親株床初期 *j:育苗期 *k:発病前～発病初期
 *L:仮植栽培期(但し収穫76日前まで) *m:育苗期(定植前)
 *n:苗床4回以内、本圃3回以内 *p:生育期(但し収穫30日前まで)
 *q:収穫開始14日前まで *s:仮植前

イチゴ

イチゴ(野菜類の登録農薬も使用できる)

薬剤名	作用機 構分類 コード	人畜 毒 性	使用 時期 (日数)	使用 回数	ア ザ ミ ウ マ 類	ア ブ ラ ム シ 類	コ ナ ジ ラ ミ 類	ク ロ バ ネ キ ノ コ バ エ 類	オ オ タ バ コ ガ シ	ヨ ト ウ ム シ	ハ ス モ ン ヨ ト ウ	ネ キ リ ム シ 類	コ ガ ネ ム シ 類	シ ク ラ メ ン ホ コ リ ダ ニ	チ ャ ノ ホ コ リ ダ ニ	ハ ダ ニ	ネ グ サ レ セ ン チ ュ ウ
除虫菊乳3	3A		1	5		◎											
スピノエース顆水	5		1	2	◎												
コロマイト水	6		1	2									◎			◎	
コロマイト乳	6		*e	2												◎	親
アタックオイル	UNM		-	-												◎	
スプレーオイル	UNM		-	-												◎	
トモノールS	UNM		-	-												◎	
ハーベストオイル	UNM		-	-												◎	
ラビサンスプレー	UNM		-	-												◎	
サフオイル乳	-		*g 1	-		◎	◎									◎	◎
カルホス微粒F	1B	劇	*b 1	1									幼				
スミチオン乳	1B		1	2		◎											
ダイアジノンSL ゾル	1B		*b *g *f	1									幼 幼 幼				
ダイアジノン粒5	1B		*b *a	1									幼				
ネマキック粒	1B		*g 1	1													◎
ネマトリンエース粒	1B		*g 1	1													◎ ◎
マラソン乳	1B		3	5	カ	◎											◎
アーデント水	3A		1	4	カ	◎											◎
アディオソ乳	3A		1	5		◎											
ガードベイトA粒	3A		*c 5										◎				
フォース粒	3A	劇	*b *a	1										幼			
マブリック水20	3A	劇	1	2		◎											
アクタラ粒5	4A		*a 2			◎											
アドマイヤー1粒	4A		*a *d	1		◎											
アルバリン粒	4A		*a 1			◎											
スタークル粒	4A		*a 1			◎											
ダントツ粒	4A		*a 1			◎											
バリアード顆水	4A	劇	1	3		◎	◎										
ベストガード溶	4A		1	3		◎	◎	チ									
ベストガード粒	4A		1	3		◎	◎	チ									
モスピラン顆溶	4A	劇	*a 1			◎	◎	チ									
モスピラン粒	4A		*a *h	1		◎	◎						幼				
トランスフォームFL	4C		1	3		◎	◎										
ディアナSC	5		1	2	◎		◎	◎			◎						

イチゴ

イチゴ(野菜類の登録農薬も使用できる)

薬剤名	作用機構分類コード	人畜毒性	使用時期(回数)	使用回数	アザミウマ類	アブラムシ類	コナジラミ類	クロバネキノコバエ類	オオタバコガシ	ヨトウムシ	ハスモンヨトウ	ネキリムシ類	コガネムシ類	シクラメンホコリダニ	チャノホコリダニ	ハダニ	ネグサレセンチュウ
アグリメック乳	6	劇	*m *n	2													◎
アニキ乳	6			1 3					◎		◎						◎
アフーム乳	6			1 2					◎	◎	◎						◎
コルト顆水	9B			1 3		◎	◎										
チェス顆水	9B			1 3		◎	◎										
ニッソラン水	10A			1 2													◎
バロックFL	10B			1 1													◎
コテツFL	13	劇		1 2	カ					◎				◎			◎
アタブロン乳	15			1 3	カ						◎						
カウンター乳	15			1 4	◎						◎						
カスケード乳	15			1 3	◎			◎			◎						
マッチ乳	15			1 4	◎						◎						
ファルコンFL	18			1 3					◎		◎						
マトリックFL	18			1 3							◎						
ロムダンFL	18			1 2							◎						
カネマイトFL	20B			1 1													◎
マイトコーネFL	20D			1 2													◎
サンマイトFL	21A	劇	*i	1		フ	◎							◎	◎		◎
ダニトロンFL	21A			1 1													◎
ハチハチFL	21A	劇	*L	1	◎	◎		◎									◎
マイトクリーン水	21A			1 1													◎
トルネードエースDF	22A			1 2					◎		◎						
アクセルベイト粒	22B			1 3							◎						
モベントFL	23		*k	1 3	灌	灌	灌										灌
スターマイトFL	25A			1 2		◎	◎	◎									◎
ダニサラバFL	25A			1 2										◎			◎
ダニコングFL	25B			1 1													◎
フェニックス顆水	28			1 2					◎		◎						
プレバゾンFL5	28			1 2							◎						
ベネビアOD	28			1 3	◎	◎	◎				◎						
ベリマークSC	28	*k		1	灌	灌	灌				灌		灌				
ヨールバルFL	28			1 2			◎		◎		◎						
ウララDF	29			1 2		◎	◎										
グレーシア乳	30			1 2	◎				◎		◎						◎
ダニオーテFL	33			1 2													◎
ファインセーブFL	34	劇		1 3	◎												
プレオFL	UN			1 4					◎		◎						
エコピタ液	-		*g	-													浸
オレート液	-		*j	-			◎	◎									◎
サンヨール乳	-			1 6		◎											◎

イチゴ

イチゴ(野菜類の登録農薬も使用できる)

薬剤名	作用機構分類コード	人畜毒性	使用時期(回数)	使用回数	アザミウマ類	アブラムシ類	コナジラミ類	クロバネキノコバエ類	オオタバコガ	ヨトウムシ	ハスモンヨトウ	ネキリムシ類	コガネムシ類	シクラメンホコリダニ	チャノホコリダニ	ハダニ	ネグサレセンチュウ
サンヨール液AL	-		1	6		◎											◎
ピタイチ乳	-		1	-	◎	◎											◎
ダブルシューターSE	5・-		1	2	◎		◎										◎

*a:定植時 *b:植付時(仮植床) *c:生育初期 *d:育苗期後半 *e:仮植前まで

*f:ポット育苗時 *g:定植前

*h:生育期(定植30日後まで)(但しマルチ被覆直前まで)

*i:収穫開始3日前まで *j:発生初期～収穫前日まで *k:育苗期後半～定植当日

*l:一番花の開花まで *m:親株育成期 *n:育苗期

カ:ミカンキイロアザミウマ

チ:チバクロバネキノコバエ (チビクロバネキノコバエ)

ワ:ワタアブラムシ

親:親株床 浸:苗浸漬 幼:幼虫 灌:灌注処理での登録

イチゴ(野菜類の登録農薬も使用できる)

主要病害虫発消長	1月	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
病害	早熟 露地 (春植え)			—	—	—						
	灰色かび病			—	—	—						
	促成			—	—	—						
	灰色かび病		—	—	—	—						
虫害	うどんこ病		—	—	—							
	アブラムシ類			—	—	—						
	ハダニ類			—	—	—						
	チャノキイロ アザミウマ				—	—	—					

作 型 — ; 栽培期 — ; 収穫期
 病害虫発消長 — ; 発生期 — ; 発生盛期

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
灰色かび病	生育期	<ol style="list-style-type: none"> 1. 敷わら又はマルチを行う。 2. 密植を避け多湿に注意する。 3. 施設やトンネル栽培では換気をよくする。 4. 発生を認めたら次の薬剤のいずれかを散布する。 ジャストミート顆粒水和剤 2000～3000倍 セイビアーフロアブル20 1000～1500倍 ダイマジン(水) 2000倍 フルピカフロアブル● 2000～3000倍 ポリオキシシンAL水溶剤● 5000倍 ロブラール水和剤● 1500倍 5. 施設栽培では、くん煙剤により予防する。◇ 6. 発病前から次の薬剤のダクト内投入を行う。 ボトキラー水和剤* 10～15g/10a/日 	被害果や被害葉は伝染源となるので早めに処分する。 ●耐性菌を生じるおそれがあるので連用しない。 ◇くん煙剤の項参照 *野菜類での登録
萎黄病	仮植前	<ol style="list-style-type: none"> 1. 健全苗を用いる。 2. 次の薬剤のいずれかで根部浸漬を行う。 トップジンM水和剤 300～500倍 1時間 ベンレート水和剤 500倍 1～3時間 	

イチゴ

イチゴ(野菜類の登録農薬も使用できる)

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
萎黄病	育苗期	1. 発病株は早めに処分する。 2. 次のいずれかの薬剤を灌注する。 トップジンM水和剤# 300~500倍 3ℓ/m ² ベンレート水和剤 500倍 50~100ml/株	# 仮植時および仮植栽培期
芽枯病	定植時	・密植、深植を避け、健全苗を用いる。	本病はリゾクトニア菌による。
	生育期	・発生を認めたら次の薬剤を散布する。 オーソサイド水和剤80 800倍	
炭疽病	定植時	・密植、深植を避け、健全苗を用いる。	病原菌はシクラメン、ペゴニア、シンビジウムにも炭そ病をおこす。 # 育苗期 ●耐性菌を生じるおそれがあるので連用しない。
	生育期	1. 雨よけ栽培を行う。 2. 発生を認めたら、次の薬剤のいずれかを散布する。 アミスター20フロアブル● 2000倍 オーソサイド水和剤80 800倍 キノンドーフロアブル# 500~800倍 グッター水和剤● 1000倍 デランフロアブル# 1000倍 ベルコートフロアブル# 1000倍	
うどんこ病	育苗中 ~本畑	1. 次の薬剤のいずれかを散布する。 アミスター20フロアブル● 1500~2000倍 イオウフロアブル# 2000倍 ストロビーフロアブル● 3000~5000倍 トリフミン水和剤● 3000~5000倍 パンチョTF顆粒水和剤● 2000倍 フルピカフロアブル 2000~3000倍 ポリオキシシンAL水溶剤 5000倍 モレスタン水和剤△ 3000~4000倍 2. 施設栽培ではくん煙剤により予防する(くん煙剤の項参照)。	薬剤は葉の表裏に十分かかるように散布する。 親株床や仮植床での防除を徹底する。蔓延すると防除は困難になるので、初期の防除を心がける。 ●耐性菌を生じるおそれがあるので連用しない。 # 親株床初期の場合は、500~1000倍。 △モレスタンは高温時に散布すると薬害を生じやすい。
アブラムシ類	定植時	・次の薬剤を植穴に施用し土壌混和する。 アドマイヤー1粒剤 0.5g/株	

イチゴ(野菜類の登録農薬も使用できる)

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
(アブラムシ類)	生育期	1. 発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 ウララDF 2000～4000倍 チェス顆粒水和剤 5000倍 2. 施設ではくん煙剤により予防する(くん煙剤の項参照)。	
オオタバコガ	生育期	1. 発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 アフーム乳剤 2000倍 フェニックス顆粒水和剤 2000～4000倍 プレオフロアブル 1000倍	
コナジラミ類	生育期	・発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 チェス顆粒水和剤 5000倍 バリアード顆粒水和剤 2000倍 モスピラン顆粒水溶剤 2000倍	
アザミウマ類	生育期	・発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 スピノエース顆粒水和剤 5000倍 ディアナSC 2500～5000倍 モスピラン顆粒水溶剤 2000倍	
ハスモンヨトウ	生育期	・発生初期に次の薬剤のいずれかを散布する。 アタブロン乳剤 2000倍 アフーム乳剤 2000倍 エコマスターBT* 1000倍 カスケード乳剤 4000倍 サブリーナフロアブル* 500～750倍 フェニックス顆粒水和剤 2000～4000倍 プレバソンフロアブル5 2000倍	*野菜類での登録
コガネムシ類(幼虫)	仮植床	・仮植床植付時に次の薬剤のいずれかを土壌混和する。 ダイアジノン粒剤5 4～6kg/10 a フォース粒剤 6 kg/10 a	ドウガネブイブイ、ヒメコガネ、アカビロウドコガネの幼虫が根部や根冠部を加害する。

イチゴ(野菜類の登録農薬も使用できる)

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
ハダニ類	生育期	<p>・発生初期に次の薬剤のいずれかを散布する。</p> <p>カネマイトフロアブル 1000～1500倍</p> <p>スターマイトフロアブル 2000倍</p> <p>ダニサラバフロアブル 1000倍</p> <p>ダニトロンフロアブル☆ 1000～2000倍</p> <p>ニッソラン水和剤 2000～3000倍</p> <p>バロックフロアブル☆ 2000倍</p> <p>マイトコーネフロアブル 1000倍</p>	<p>☆ミツバチに影響の少ない薬剤</p> <p>天敵昆虫農薬(施設栽培): スパイデックス、スパイカルEX、ミヤコバンカー等</p>
イチゴメセンチュウ	定植前	<p>1. 健全な親株から苗を取る。</p> <p>2. 被害苗、被害株は抜き取る。</p>	<p>成長点付近に寄生し、ランナーで伝播する。</p>
ネグサレセンチュウ	定植前	<p>1. 定植前に土壌消毒する(土壌消毒の項参照)。</p> <p>2. 次の薬剤のいずれかを全面土壌混和する。</p> <p>ネマキック粒剤 15～20kg/10 a</p> <p>ネマトリンエース粒剤 20～25kg/10 a</p>	
その他の病害虫		ナメクジ	